

とんな子みっけ!

保護者の会主催のくすのきまつり。ポカポカ陽気の中、たくさんのお客さまが来園され盛大に行われました。委員さんを始めスタッフのお母さま方、たくさんのご協力をありがとうございました。

毎年、1月になると埋蔵品の収集があったり、委員さんやサポーターさんが幼稚園で作業をするようになると、子どもたちはソワソワ。ホールをのぞいたり、ドアをノックしてみたり、「〇〇ちゃんのママ～」なんて声を掛けたりしてとても嬉しそうです。「幼稚園がお店屋さんになる!あと〇回寝たら～」と楽しみにしていました。



当日、子どもたちの目が輝いていたのが、だから釣りやおもちゃコーナー。

時には、買いたいものをどどんかゴに入れて、いざ支払いの時にになったらお金が足りなかったり、商品を持ちながらのお金の出し入れに手こずったりもしていました。普段、お家の方がお金を支払ってくれて受け取るだけの時とは違って、“買い物ってなかなか大変なものなんだな”と気付く体験にもなったのではないのでしょうか。そして何よりも、“お店屋さんはお母さんたち”ですから、みんな安心してお買いものをさせていただくことができました。時には、「そんなにいっぱい買っていいの?お母さんに聞いてからまたおいで」と、ムダ使いを防いでもらった子もいたようです。

埋蔵品売り場では、こんな出来事がありました。プラスチックでできた小さな



宝石を手に握りしめている年少さんがいました。値段も付いていないし、おもちゃの付属品のようですが、周りを探してもそれらしきものはなく、その宝石だけがポツンと置いてあったようです。それが気に入ったのはもちろんですが、どうやら自分でお金を払って買い物がしたい様子なのです。それをお母さまが汲み取って、「自分で買い物がしたいようなので、売ってもらえませんか」と、相談してくださいました。本当に小さくて、それ一つでは値段が付けられないほどでしたが、お財布に入っていた1番小さなお金で、お買いものをしていただきました。“自分でお買いものしたい!”とぎゅっと握りしめて放さなかった思いや、自分のお財布からお金を出して買えた喜びは、きっと大きいだらうと感じます。お会計のお母さんも「ありがとう!お買いもの出来て良かったね～」と受け止めて下さり、それもまた温かく嬉しい光景でした。

こうして毎年、保護者の会のお母さま方が企画・運営してくださるくすのきまつり。卒園生や来年入園される方もたくさんいらしていました。そこでみなさんおっしゃるのは、“活気があっていい!”“お母さんたちが生き生きとして楽しそう”ということ。長い期間をかけて準備して下さったことに感謝すると共に、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、自らが楽しんで盛り上げて下さったお母さま方。「僕のお母さん委員さんだから!」「うちのママ、フランクフルト屋さんだって!」と誇らしげに話す子どもたちにも、その活躍がちゃんと伝わっているのです。



とんな

「とんな」は、ようちえんで起こる
とんなとき・とんなこと・こ～んなにを
折々お届けします。

約束ごっこ!?

〇ちゃん:「今日一緒にバス乗ろう?」

Mちゃん:「だめ約束してるから」

〇ちゃん:「やだ!一緒に乗りたい～」

Mちゃん:「エーっ!」

最近、とんなやりとりに出くわします。時には、怒ったり泣いたり話し合いがまとまらないこともあって、先生が間に入ることもしばしば。

ですが、一生懸命話し合っても、いざバスに乗り込む時になると、「Kくん一緒に座ろ～」と他の友だちを誘ってさっさと着席したりして、さっきの約束はどこへ!?ということが多い年少組。「さっき約束したのに!」なんてケンカが始まることはなく、あっさりしています。もしかしたら“約束する”ことも遊びの中の一片で、約束を結ぶ関係が嬉しくて、誘い合うのかな?とさえ感じてしまいます。そんなかわいいやりとりを、今のうちはそっから見守りたいと思います。



“仲良しさん”
がいることが嬉しいのです。

お当番

年が明けてから、年長に進級することに対して、気持ちがグ〜ンと高まっている年中組。そこで“年長さんはお部屋でどんなことをしているんだろう？”とお部屋をちょこっとのぞきに行ってみることにしました。すると、ちょうど朝の活動をしている真っ最中。「手を静かに合わせましょう」とお当番さんが2人、前を出てお話しています。“年長さんになると、先生の代わりにお話するんだ！”とますます期待が膨らんだようです。



お部屋に帰ってくると、「ぼくたちもやりたい！」という声が上がります。まずは4〜5人のグループで、お当番の練習をすることになりました。初めのうちは小さな声だったり、きちんと立っていられずグニャグニャしたり・・・でも次第に「せーの！」とタイミングをリードする子が出て来たり、「先生は教えないで」とか「もっとお仕事ありませんか？」とせがまれたりして、“お当番”が楽しくなって、さらに期待がアップしています。お弁当の後、「お外に行っていよいよ！」と、勝手に支持を出したりする子もいたとのこと。“先生の代わりに”のイメージが先行して～しまったのですね。ビックリ！！



年中組



ご挨拶のかけ声や、お休み調べ、テーブル拭き、お手紙配りetc...お仕事頑張っています。

年長タイム

くすのきまつりでは、毎年恒例の“年長タイム”がありました。何日か前から、紙のお金を作って買い物ごっこをしたり、一緒に周る仲間と、どこのお店に行くか相談したりして、楽しみにしていました。



「どれにする？」「これにしようかな」と、おしゃべりしながら、お買いものをじっくり楽しみました。

当日は、ゲームコーナーや駄菓子・おもちゃコーナーなど、長い行列にもみんなでちゃんと順番を待って並んでいました。そんな中、食べもの屋さんを目を付けたグループが、園長先生の玉こんにやく屋さんに向かいました。みんなで「くださいーい！」と威勢よく注文します。お財布からお金を出したり、玉こんにやくを受け取ったり、おつりをもらったり・・・とにかくそれぞれ必死。“お財布のチャックをちゃんとしめたかな？”と心配になるくらい、あれこれ慌ただしい感じでしたが、無事に買えるとても嬉しそうにほおぼっていました。そんな中、なかなか食べださない子がいます。でもしっかりと握ってニコニコ嬉しそうです。その様子に気付いたお母さんが助け舟を出してくれました。どうやら食べたことがないようで、お母さんに預かってもらうことにしました。それでも“みんなと一緒に買いものできたこと”が満足だったのでしょうか。大人は、“食べない物は買わない”と思ってしまうのですが、お友だちとお買いものをする時間が楽しくて、流れに乗ってしまったのですよね。

